

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-76901 (P2004-76901A)
【公開日】平成 16 年 3 月 11 日 (2004.3.11)
【年通号数】公開・登録公報 2004-010
【出願番号】特願 2002-240743 (P2002-240743)
【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 C 19/54

F 1 6 C 35/12

G 1 1 B 21/02

【F I】

F 1 6 C 19/54

F 1 6 C 35/12

G 1 1 B 21/02 6 3 0 A

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 8 月 1 日 (2005.8.1)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

シャフトの両端部にボールベアリングを嵌合し、
これらボールベアリングの外輪どうしの間にスペーサを配置したハードディスクドライブ用ピボットアセンブリにおいて、
前記外輪および前記スペーサは平坦な端面どうしで当接され、
前記スペーサは、前記外輪にレーザ溶接にて固定されていることを特徴とするハードディスクドライブ用ピボットアセンブリ。

【請求項 2】

前記スペーサの外周縁部にシャープエッジを形成し、このシャープエッジを前記外輪の端面に密着させ、その部分でレーザ溶接にて固定したことを特徴とする請求項 1 に記載のハードディスクドライブ用ピボットアセンブリ。

【請求項 3】

前記外輪は、その外周面と端面との交叉部に断面略円弧状の面取りを有し、前記シャープエッジは、上記面取りよりも内周側の平坦な部分で上記外輪にレーザ溶接されていることを特徴とする請求項 2 に記載のハードディスクドライブ用ピボットアセンブリ。

【請求項 4】

前記シャープエッジは、前記スペーサの端部をその外周よりも小径とすることで形成されていることを特徴とする請求項 3 に記載のハードディスクドライブ用ピボットアセンブリ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

本発明は、シャフトの両端部にボールベアリングを嵌合し、これらボールベアリングの外輪どうしの間にスペーサを配置したハードディスクドライブ用ピボットアッセンブリにおいて、外輪およびスペーサは平坦な端面どうしで当接され、スペーサは、外輪にレーザ溶接にて固定されていることを特徴としている。